法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム
第一（小矢部）・第二（小矢部）
第三（小矢部）・第五（若宮台）
第六（平作）・第七（武）・第八（太田和）

介護ができる障がい者グループホーム

これまであすなろの家は、７つの建物で合計３５名のご入居者様が暮らしていました。その合計定員３５名は変えずに、建物を３つ減らし、新たに元さくらの家一番館の建物を加え、５つの建物を使う形に再編成します。

元さくらの家一番館の建物は、新しい第３あすなろの家となり、１１名が暮らすことになります。７８歳のご入居者様を筆頭に、６名の７０代の方がおります また、６０代でも介護が必要な方もおります。

元々高齢者のグループホーム、さくらの家として使っていた建物なので、バリアフリー構造で車いすで生活できるようになっています。それを活かして、軽度から中度の介護に対応できるホームとします。

これからは、各あすなろの家で暮らしている方が、介護が必要になった際には第３あすなろの家に転居して頂きます。そして、重度の介護が必要になったら、法人内の特養ホームさくらの里山科に転居して頂きます。こうして、障がいをもつ方を一生涯ケアできる体制を作りました。

法人施設活動報告：あすなろ学苑

就労継続支援Ｂ型事業

あすなろ学苑の紹介動画をアップ

横須賀市障害関係施設協議会のホームページで、市内で障害者福祉施設を運営する 17 法人の紹介動画が公開されています。

施設を利用したい方はもちろん、施設で働きたい方、地域の方向けに、各施設の日々の活動が視聴できます。

あすなろ学苑も、作業の様子、余暇の様子、苑生さんへのインタビューを 5 分程度でまとめています。

あすなろ学苑の紹介動画は、上のＱＲコードで見れます。あすなろ学苑らしさ溢れる素敵な動画に仕上がっていますので、皆さんぜひ見て下さい。

法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ
相談室あすなろ

特別支援学校との連携

室長：岸川江利子

春は卒業の季節ですね。この時期になりますと毎年、特別支援学校等から社会に飛び立つ方々の相談の引継ぎがあります。これまでは、「学校」という枠組みを中心に生活をしていましたが、障がいを持つ方の多くが、進学より就職を選ばれます。学校の枠組みから外れるのです。

一般就労される方、障害者雇用で仕事される方、通所等の福祉サービスを利用しながら生活される方等、様々進路がありますが、これまで学校や放課後等デイサービスで支援を受けていた方々が、全く別の支援者と関わることになります。とても大事な節目の時期ですので、地域の相談室としては、ご本人及びご家族様にできるだけ安心して、切れ目ない支援が継続されるよう丁寧に対応していきたいと思います。地域の方々にも、温かい目で迎えていただけたら嬉しく思います